

# 酪業と漁業の町 天塩 人気てしお仮面

東京天塩会 常任顧問 安岡 忠 義



東京天塩会は昭和56年に天塩出身者や其の家族で構成され各行事を行って今年で36年になる。昨年は20数名で故郷訪問を行い、町の行事にも参加し歓迎を受けました。

その故郷も開基138年になる。この天塩に初めて人が居住したのは、擦文期にアイヌの人達が淡水域と海水域が接する条件の天塩川の河口近くに集落を作ったのが始まりと謂われている。

又慶長年代になると漁業場所が設定されると和歌山で材木商の五代目栖原角兵衛が其の

場所を請負い雇人を連れてきて漁業を始め其の収益から運上金を納めたという。その為この地は漁業に最適と認められた。明治初期には場所請負が廃止になる。明治19年には北海道土地私下規則が公布されると、資本家達は天塩原野の奥地迄広がる木材資源に目をつけ、木材事業を始め、切り出した木材は筏に組んで天塩川を流送し、天塩迄運び、沖合の大型船に積み上げ、小樽―内地、朝鮮、中国へ輸出され、そのため街中は大変賑わったという。例年代々木公園で10月始め産直フェアが開

## 産直フェアと「あかずきんちゃん」

東京秩父別会 副会長 桑原 政 己



ふるさとを思う気持ちは、今も昔も変わらず先輩役員他、多数のふるさと会にて第1回産直フェア（平成7年）新宿住友三角ビル広場にて第1回創立開催に参加、私も第4回よりお手伝いする、初回より町の特産ドライフルーツ・お米・トマトジュース「あかずきんちゃん」がデビューでした。販売は会員皆が

責任感を持って行いました。第6回（平成12年）からは秩父別町の協力もあり、当会主催仕入れ販売を、これらを如何にして販売を伸ばすか開催を重ねるごとに、顧客管

理、拡大とつながり今日に至っております。次なる試練は平成13年より会場が「北海道フェアIN代々木」に変更になった時は、出店に対し難産がありました。デイベロツパーとの交渉などが産直担当の部長・部員の熱い思いが実り、道産子愛が実った一コマでした。今後も素晴らしい「産直フェア」が盛況に行われ、続きますことを祈っています。



第12回産直フェア「新宿」  
'06平成18年 "元会長、代議士 激励訪問"

責任感を持って行いました。第6回（平成12年）からは秩父別町の協力もあり、当会主催仕入れ販売を、これらを如何にして販売を伸ばすか開催を重ねるごとに、顧客管



第16回産直フェア「代々木」  
'10平成22年  
"高橋はるみ知事 販促来訪"

責任感を持って行いました。第6回（平成12年）からは秩父別町の協力もあり、当会主催仕入れ販売を、これらを如何にして販売を伸ばすか開催を重ねるごとに、顧客管

### ふるさとに根付いたカーリング

東京常呂会 会長 馬淵 照 男

今年三月にカナダで開催されたカーリング女子世界選手権で日本は銀メダルを獲得しました。もちろん、銀メダルを獲得したのはわが故郷北見市常呂町のチームのLS北見口コ・ソラーレ、日本初の快挙となりました。

常呂町は北見市と合併して十年以上が経ちますが、過疎化が進み町の人口も随分と減少してしまいました。そんな厳しい環境の中でカーリングは町民のスポーツとして根つき、幼稚園児から後期高齢者まで、幅広い層に愛されて、今なお盛んにたくさんチームが活動しております。このような背景があつて、小さな町にもかかわらず世界で活躍できる人材を輩出しているのです。

私たち東京常呂会は、東京北見会、在京端野会、そして東京るべしべ会と協力し、今は北見市となっている故郷を盛り上げるべく活動しております。カーリングの支援のために、北見市ふるさと会カーリング支援推進委員会を設立し、会員の皆様から寄付を募っております。この五月には、毎年の恒例行事になっております平成屯田兵ツアーで北見を訪問した際には二十五万円を寄付し、カーリングの振興に役立てて頂きました。

私ども東京常呂会は、引き続き各ふるさと会との懇親を深めながら、故郷との関わりを大切にしたいと思っております。



催され、天塩町からも出店し蛸ソーメン、鮭の白子のバター焼きは大人気だ。地元からこの材料と数人が来る。会の役員も応援参加する。「てしお仮面」が会場を回ると子供・大人出店の皆さんに大人気だ。今年も又お目にかかりたいですね。

銀座で創業30年余、  
都心の不動産のことならお任せを!

不動産の売買・仲介・管理・ご相談承ります

株式会社 八千代商会

代表取締役 堀川 哲夫 (東京白老会・副会長)

公益社団法人  
東京都宅地建物取引業協会会員  
都知事免許 (9) 4 2 4 5 0

〒104-0061  
東京都中央区銀座3丁目11番7号  
電話 03-3545-1466 (代)  
FAX 03-3546-3860